

県下最大の塔心礎

幡多廃寺塔跡



指定区分	国指定史跡
読みかた	はたはいじとうあと
所在地	岡山市中区赤田
指定年月日	昭和19年11月7日
解説	県下最大の塔心礎。長径約2.6m、短径約2.1m。花崗岩製。調査により東西123m、南北128mの寺域、塔・金堂などの基礎部分が検出された。出土遺物から白鳳時代後半に創建され、平安時代末までに廃寺になったと考えられている。
アクセス方法	JR高島駅から徒歩5分
公開状況	自由
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	幡多廃寺塔跡
よみかた	はたはいじとうあと
しょざいち (所在地)	岡山市中区赤田
していたひ (指定した日)	昭和19年11月7日
せつめい	むかし、岡山県でもっとも大きかった塔(とう)がここにありました。今では田んぼの中にその塔の中心の跡(あと)があります。塔は火災(かさい)によって失(うし)われたと考(かんが)えられています。